

表1 各合併症の頻度

疾患名	症例数	疾患名	症例数
脳卒中の既往	33 (26%)	透析の有無	5 (4%)
脳梗塞の既往	26 (21%)	高次脳機能障害の有無	62 (49%)
脳出血の既往	10 (8%)	失語症の有無	40 (32%)
クモ膜下出血の既往	1 (1%)	半側空間失認の有無	37 (29%)
その他の脳卒中の既往	4 (3%)	その他の高次脳機能障害の有無	27 (21%)
心臓疾患の既往	19 (15%)	精神症状の有無	13 (10%)
心臓疾患の既往	16 (13%)	認知症の治療歴	12 (10%)
心筋梗塞の既往	4 (3%)	うつの治療歴	1 (1%)
狭心症の既往または合併	3 (2%)	嚥下障害の有無	44 (35%)
PCI 後	5 (4%)	嚥下障害	44 (35%)
CABG 後	1 (1%)	誤嚥性肺炎の既往	9 (7%)
心不全入院既往の有無	8 (6%)	筋・骨関節疾患の有無	34 (27%)
心臓疾患合併の有無	44 (35%)	サルコペニア	13 (10%)
心臓疾患合併の有無	20 (16%)	フレイル	24 (19%)
心不全症状の有無 (AHA class C, D)	5 (4%)	変形性膝関節症の治療歴	5 (4%)
心房細動 (発作性も持続性も含める)	31 (25%)	変形性股関節症の治療歴	1 (1%)
不整脈 (心房細動以外) の合併	6 (5%)	脊椎疾患の治療歴	6 (5%)
(ペースメーカー挿入後含む)		(腰部脊柱管狭窄症、慢性腰痛を含む)	
血管疾患合併の有無	9 (7%)	その他疾患の有無	27 (21%)

血管疾患の合併	4	(3%)	慢性呼吸不全	1	(1%)
大動脈瘤	3	(2%)	低栄養 (Alb<3.5)	26	(21%)
下肢動脈疾患 ABI(≦0.9)	4	(3%)	生活習慣病 (治療中のもの)	107	(85%)
慢性腎臓病の合併	55	(44%)	糖尿病	36	(29%)
慢性腎臓病の合併	30	(24%)	高血圧	89	(71%)
eGFR<60	45	(36%)	脂質異常症	68	(54%)
尿たんぱく	28	(22%)	現在喫煙	21	(17%)

太字はカテゴリ REDCap の各入力項目のカテゴリであり、対応する入力項目が一つ以上入力されていた対象者数 (割合) を表記

太字以外は、REDCap の入力項目であり、入力された実数 (割合) を表記

表2 実際には算定していないが算定可能な疾患別リハビリテーション料および摂食嚥下療法

リハ料/疾患名	症例数	リハ料/疾患名	症例数
心疾患リハビリテーション料	40 (32%)	呼吸器リハビリテーション料	8 (6%)
急性心筋梗塞	1 (1%)	肺炎	5 (4%)
狭心症	3 (2%)	無気肺	0 (0%)
開心術後	0 (0%)	肺腫瘍、胸部外傷、肺塞栓、肺移植手術、慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対するLVRS（Lungvolumereductionsurgery）等の呼吸器疾患又はその手術後	0 (0%)
経カテーテル大動脈弁置換術後	0 (0%)	COPD	1 (1%)
大動脈解離	1 (1%)	気管支喘息	1 (1%)
解離性大動脈瘤	2 (2%)	気管支拡張症	0 (0%)
大血管術後	1 (1%)	間質性肺炎	1 (1%)
左室駆出率40%以下	5 (4%)	塵肺	0 (0%)
最高酸素摂取量が基準値80%以下	0 (0%)	びまん性汎気管支炎	0 (0%)
BNPが80pg/mL以上又はNT-proBNPが400pg/mL以上	37 (29%)	神経筋疾患で呼吸不全を伴う	0 (0%)
間欠性跛行を呈する	1 (1%)	気管切開下の患者	0 (0%)
運動器リハビリテーション料	7 (6%)	人工呼吸管理下の患者	0 (0%)
上・下肢の複合損傷（骨・筋・腱・靭帯、神経、血管のうち3種類以上の複合損傷）	0 (0%)	肺結核後遺症	0 (0%)

脊椎損傷による四肢麻痺（1肢以上）	1	(1%)	食道癌、胃癌、肝臓癌、咽・喉頭癌等の手術前後の呼吸機能訓練を要する	0	(0%)
体幹・上・下肢の外傷・骨折	3	(2%)	がん患者リハビリテーション料	9	(7%)
切断・離断（義肢）	0	(0%)	治療中の悪性腫瘍の有無	5	(4%)
運動器の悪性腫瘍	0	(0%)	悪性腫瘍の既往の有無	7	(6%)
関節の変性疾患	2	(2%)	摂食嚥下療法	33	(26%)
関節の炎症性疾患	0	(0%)	発達遅滞	0	(0%)
熱傷瘢痕による関節拘縮	0	(0%)	顎切除及び舌切除の手術	0	(0%)
運動器不安定症	3	(2%)	脳卒中等による後遺症	31	(25%)
糖尿病足病変	0	(0%)	内視鏡下嚥下機能検査又は嚥下造影によって他覚的に嚥下機能の低下が確認できるもの	5	(4%)
廃用症候群リハビリテーション料	50	(40%)	RSST	18	(14%)
急性疾患等に伴う安静による廃用症候群。治療開始時において、FIM115以下またはBI85以下の状態	50	(40%)			

症例数は、実数（割合）で表記

太字は、算定条件を一つ以上満たした症例数（割合）を表記